

2010年1月1日から2026年12月31日までの期間に 当科において産婦人科手術を受けられた方及びご家族の方へ

「女性性腺・生殖器におけるサイトカイン(IL-17, IL-1RA, IL-4)及び受容体の発現 に関する検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者

川崎医科大学産婦人科学1 教授 下屋浩一郎

研究分担者

川崎医科大学産婦人科学1 講師 松本桂子

川崎医科大学産婦人科学1 大学院生 齋藤 渉

川崎医科大学婦人科腫瘍学 准教授 太田啓明

川崎医科大学婦人科腫瘍学 講師 佐野力哉

川崎医科大学泌尿器科学 講師 大平 伸

川崎医科大学病理学 教授 森谷卓也

川崎医科大学病理学 講師 西村広健

1. 研究の概要

私たちはこれまで排卵時の卵胞液中のIL-17A, IL-1RA, IL-4という3種類のサイトカイン濃度が受精後の細胞の成熟と関連することを見つけてきました。今回の研究ではこれらのサイトカインおよびその受容体(物質と結合する細胞表面にある分子)の卵巣、卵管、子宮での発現を解析し、生殖医療におけるこれらサイトカインの機能の解析と治療成績改善に寄与する因子を見出すことを目的に手術で採取保存していた残余検体においてこれらのサイトカインおよびその受容体の発現解析を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日から2026年12月31日までの間に川崎医科大学附属病院産婦人科において婦人科疾患に対する手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日~2027年 3月 31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において産婦人科手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとにIL-17A, IL-1RA, IL-4 および受容体の女性性腺・生殖器における発現解析を行い、これらサイトカイン

の女性性腺・生殖器における働きについて調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、月経歴、妊娠歴、病歴、治療歴、等

試料：手術で摘出した組織

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学産婦人科学1内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの〈試料・情報〉が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2027年3月1日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学 産婦人科学1

氏名：下屋浩一郎

電話：086-462-1111 内線26513（平日：10時00分～16時00分）

ファックス：086-462-1199

E-mail：gyne@kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、公的研究費（研究費名：基盤研究（C）課題名：卵巣顆粒膜細胞に着目した生殖医療から婦人科腫瘍に広がる病態解析）および学内研究費を用いて行われる予定です。研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。